

個人コード*	888888
漢字医師名	アルト花子

	施設コード*	略式施設名
1	3333333	* * * * * 医院
2	4444444	* * * * * 病院
3		
4		
5		

論文コード	発行年月日	雑誌名	標題	抄録	疾病分類名	副作用名
199504241	199504	神経精神薬理	特集 SSRIの基礎と臨床 SSRIの行動薬理—うつ病と不安神経症に関して—(総説)	最近、選択的セロトニン再取り込み阻害剤selective serotonin reuptake inhibitor(SSRI)がうつ病の他、不安神経症、強迫性障害にも有効であることが報告されている。SSRIの不安神経症に対する効果を行動薬理的に検討した報告は少ない。本稿ではSSRIのうつ病、不安神経症に対する臨床効果と行動薬理の関係を焦点をあてて最近の知見を紹介し、SSRIの行動薬理がもつ現在の問題点と今後の課題について若干の考察を加えたい。うつ病とPD(panic disorder)に対するSSRIの臨床効果と行動薬理、抗うつ薬のスクリーニング・テストにおけるSSRIの効果、抗不安薬のスクリーニング・テストにおけるSSRIの効果、SSRIの作用に関する脳内透析法を用いた研究と行動薬理、SSRIの抗不安作用の機序—問題の提起(PDとGAD(generalized anxiety disorder)のそれぞれに特異的な動物モデルは可能か、臨床的な効果発現時期と行動薬理実験における効果発現時期の違い、SSRIの抗不安作用を増強する方法はないか、5-HT系の活動の亢進と減弱のどちらがSSRIの抗不安作用に関与しているのか)。	うつ病,パニック	